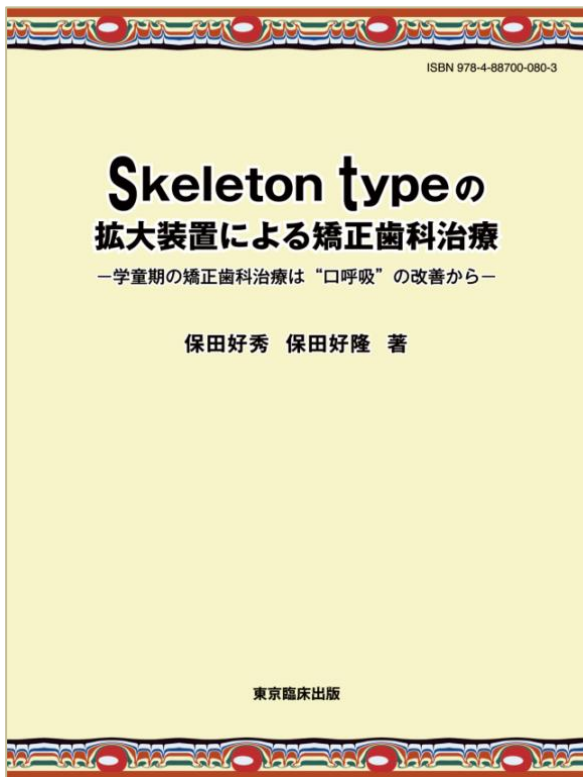
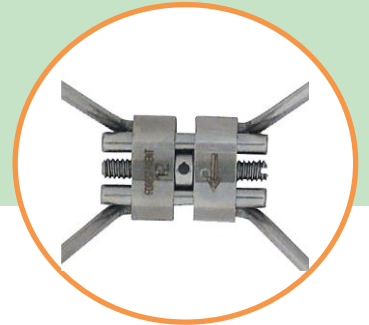


Skeleton typeの 拡大装置による矯正歯科治療

—学童期の矯正歯科治療は“口呼吸”の改善から—

保田好秀 保田好隆 著



子どもたちの健やかな成長を遂げる一助として

当院の間診事項への回答は、不正咬合の原因となる口呼吸の存在を雄弁に物語ってくれる、最も安価で容易で適確な指標である。

睡眠に関わる問診から口呼吸の存在がわかった例として、ある患者の母親が「子どものくせに、朝から疲れているんです！」と言った。睡眠中の血液の酸素量を計測すると、睡眠中に何度も酸欠状態になり、その時間は4分強という結果が出た。これが朝から疲れている原因であることは想像に難くない。

酸欠状態は、完全に脳が睡眠状態で余儀なく鼻呼吸をしている時間帯において、鼻腔や気道の閉塞があるがために、十分な呼吸ができていないことを示している。この時は苦しいので、寝相も乱れるだろうし、寝ぼけて座ったり立ったりして口呼吸をして一息ついてから、眠りに就く子がいることも合点が行く。

先の患者は、スケルトンタイプの拡大装置を用いて上顎を拡大した直後、酸欠状態は当初のおよそ十分の一にまで激減した。もちろん、この子どもはスヤスヤ眠れるようになり、朝から疲れることはなくなったことは言うまでもない。この事実こそが、我々がスケルトンタイプの拡大装置を用いる理由である。

(本書「はじめに」より抜粋)

発行:東京臨床出版株式会社

ご注文日: 年 月 日

ご注文

FAX 03-3568-8864

お問い合わせ

TEL 03-6277-6980
フォレストudent・ジャパン株式会社

「Skeleton type の拡大装置による矯正歯科治療」 申込書

お名前		TEL	
医院名		FAX	
お届け先住所 (ご請求先)	〒		